

茅ヶ崎同盟教会 教会学校だより

2006年度年間暗誦聖句 (こどもさんびか 1 番)

あいするものたちよ。わたしたちは、たがいにあいしあおうではないか。
あいは、かみから出たものなのである。すべてあいするものは、かみから
生れたものであって、かみを知っている、あいさないものは、かみを知らない。
かみはあいである。(口語訳)

ヨハネの第一の手紙 4章7～8節

教会学校では、毎年5月の中ごろ、教会から歩いてすぐの、えぼし岩の見える茅ヶ崎海岸に集まり、砂浜で思いっきり遊ぶビーチプレイデイを開催しています。今年はアシスタント教師の川島悟・安田昌宏両兄が古川兄の補佐として活躍しました。恒例のドッジボール親子対決や教師対生徒対決など、プロ野球ながら教会学校行事とは思えない真剣勝負の大迫力場面が見ものとなっています。成人科担当の古川盛弘兄が独特のタッチで詳しくレポートしてくれました。

2006年ビーチプレイデイ・レポート

5月21日(日)の教会学校ビーチプレイデイの報告をします。当日の人数は、大人35名、幼児を含む子ども25名でした。ゴールデンウィークが過ぎてから前日まで、雨や曇りの日々が続き、当日のお天気が心配でした。しかし当日は、日射しに気をつけなければと初夏を思わせるような素晴らしい晴天に恵まれました。天気のことを心配で毎日いのったお陰で神さまは願いをかなえて下さいました。本当にありがとうございました。



さて、参加する人たちは13時15分までに教会に集合し、校長のお祈りのあと海岸までぞろぞろと歩いて行きました。今回は前回と違って絵本大好きの会の小さい子どもたちと、そのママさん、パパさんたちとコラボレーション(合同で)して開催しました。これは、絵本の会担当のCS教師たちのお陰なのです。今年はジュニア科の子どもたちが勉強やら部活やらで参加人数が1名でしたが、小さな子どもたちのお陰で人数は多かったのです。



内容は毎回恒例,人気種目(?)のドッジボール,ビーチフラッグ,昨年から取り入れた玉入れ,そして小さな子どもたちのための宝探しを行いました。小さな子どもたちは目の中に入れても痛くないと思うほどの本当にかわいい子どもたちでした(でした,と過去形になっている・・・この意味はこれから書くレポートの内容でわかると思う)。

まず玉入れをするのに紅白に分かれて行い,カゴは私や川島悟君,安田昌宏君たちが頭の上ののせて立っている所に玉を投げ入れてもらうことにしたのです。スタートと同時に子どもたちは,一生懸命カゴに投げ入れてくるのですが,カゴに届かず,顔や頭,体に容赦なく当たるのです。玉を入れる小さな子どもたちやそのママさん,パパさんはキャ～キャ～無邪気なのですが,カゴ持ちは恐怖を味わうことができるのです。この時だけは天使のようなかわいい子が小さな悪魔に見えたのです。しかしそれでも先に書いたようにクリクリした目でかわいい子どもたちがカゴに沢山玉を入れている姿を見ていて,頑張れとみんな応援していました。

ドッジボールは始めから白熱した試合となりました。ジュニアの参加がなかったため,加藤親子のほかは,弓桁親子の対決も見られず,早坂親子対決も今年は見られず,恒例の3大親子対決は見られませんでした,新たな対決が見られました。ジャジャーン・・・それは校長森本親子と安田親子です。来年は5大親子対決に



期待したいです。もしかしたら家族対抗試合もありえるかもしれません。森本親子対決は響君の勝ちでした(さすが若い)。必死にボールに飛び付き(?)童心に帰って投げる河西さんや安田さん,私を含め頑張りました。次の日,筋肉痛で動けなかったのは言うまでもありません。

ビーチフラッグは,若者と小さな子ども



たち,純ちゃん,絵美ちゃん,1人のママさんが頑張っておられました。私はこれ以上動くと,先ほど書いたことが起こってしまうかもしれないので(実際になってしまいました),スタート合図だけにさせてもらいました。若者たちは獅子のように砂に埋めたペットボトル(フラッグのつもり)へと脇目も振らず突進し,雄叫びをあげて走っていました。年が若くていいなと思ってしまうオジさんのような考えが浮かんでしまう私はもうオジさんかな(違う,まだまだこれからだ)。子どもたちの走りは,まるで牧場の子羊のように,チョコマカと走り,ものすごくかわいらしく,見ててほほえましく,現実を忘れさせてくれて,夢を見させてくれるように,次々と幸せになれる走りを見せてくれました。ゴールでカメラを持って待つパパさん,ママさんたちの白熱した応援も見物で,かなり熱が入っていました。

最後にビーチプレイデイ担当として,無事に終わったことを神さまに感謝してお祈りをさせていただきました。来年も,もっともっと皆さんが楽しんで,忘れられない思い出となるビーチプレイデイにしていきたいと思います。(古川盛弘記)

編集後記 (June,11th. 2006 Updated)



お天気次第のビーチプレイデイは大変暑い一日となりました。海辺は人でいっぱいでした。今回は小さなお友だちの参加でかわいく盛り上がりました。はやく教会学校に通ってくれる日が待ち遠しいです。さて絶好のコンディションのもと,存分に遊ぶことができました。責任者・古川先生が人柄のにじみ出る楽しいレポートにまとめてくれました。さて今年も夏休みに入ると奥多摩での夏期学校が計画されています。今度は海辺から緑と清流の渓谷での楽しいプログラムがみなさんをまっています。(森本)